

教員名	米本 清	所属学科	地域政策学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b>  都市・地域経済学の分析を応用し、実際の社会・経済問題について分析します。  特に、以下のいずれかのトピックに関心を持つ学生を歓迎します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空間的要素を考慮した都市・地域の経済政策</li> <li>・中心市街地の空洞化や低成長・少子高齢化時代における都市・地域空間構造の変化</li> <li>・地域間の人口移動とその要因</li> <li>・災害の地域経済や企業・住民立地への影響・復興</li> <li>・都市・地域における人々の満足度と経済的要素</li> </ul> <p>このゼミナールで学習・研究する内容が、1) 卒業後の社会生活において役に立つ、  2) 学問的な意義を持つ、のいずれかまたは両方であることを目標とします。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b>  3年次前期までは『地域経済学入門』（下欄を参照）またはゼミ生の希望に応じ、これと同水準のテキストを輪読します。  3年次後期には卒業論文の作成を念頭において、各自でテーマを設定し予備的な研究とその発表を行います（途中でテーマを変更しても構いません）。  4年次にはテーマを確定して卒業論文の作成を行います。  （授業以外に、合宿や巡検、地域支援活動などの機会があります）</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b>  都市・地域に関して経済学的な側面から一般的に学習・研究するため、幅広い分野に応用が可能です。これまでの卒業生は金融機関や公務員、その他さまざまな企業に就職しています。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b>  『地域経済学入門』山田浩之・徳岡一幸（編）、有斐閣コンパクト（予定）  その他、各自のテーマに応じて参考文献を紹介します。</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b>  本ゼミナールではテーマの設定や学習・研究の方法等に関し、ある程度学生の自主性を尊重します。このため、自ら問題意識を持ち、積極的に学習・研究を行う学生を歓迎します。</p> <p>「何を研究するかは、ゼミに入ってから考えたい」という学生より、具体的に「〇〇の問題を、ぜひ研究してみたい」「□□について、もっとよく学んでみたい」という対象を持っている学生に入ってもらえればと考えています。</p> <p>*柔軟な発想を持ち、現状を批判的にみることができると入ってもらいたいです。ものごとを誰かの「受け売り」で考えるのではなく、自らの頭で判断できる力を養ってほしいと思います。</p> <p>面接では各人の志望動機を中心に評価し、公正を期します。</p>			